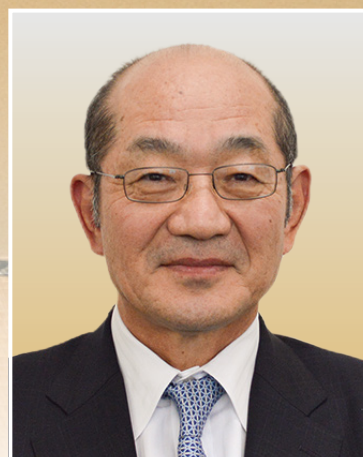


年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤正義



新年明けましておめでとうございます。令和4年の年頭にあたり、皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、人の移動や経済活動が制限され、県内でも外食、小売、観光など人との接触機会を伴う業界を中心に、多くの中小企業が深刻な影響を受け、社会全体に閉塞感が漂う1年となりました。

一方で、1年延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックが7月に開催され、トップアスリートの躍動と日本人選手の活躍が、多くの国民に感動と希望を与えるなど明るい話題となりました。

その後、猛威を振るった新型コロナウイルスは、ワクチン接種の進展等とともに、昨年夏をピークに収束の兆しを見せ始めているものの、新種株の出現や燃料等原材料の高騰、半導体等の資材不足などが中小企業の経済活動における新たな足かせになるなど、いまだ収益確保、雇用維持等の経営課題に対する解決の糸口が見出せない状況が続いております。

本会では、「強い組合・強い企業づくり」を活動スローガンに掲げ、県内中小企業の連携支援を柱に支援活動をしております。その中で、今年度、コロナ禍で売上が減少している組合や企業等の販売促進と情報発信力強化を目的に、秋田市「エリアなかいち」での物販イベント「くみあいピック」の開催、ホームページの新設、リニューアル支援を実施するなど、事業者ニーズに沿った効果的かつ時機を得た支援を心掛けて来ましたが、これからも組合・企業訪問等を通じて事業者が抱える課題・要望を的確に吸い上げ、企業経営に有益な情報と支援をタイムリーに提供していくことで、本会の支援機関としての役割を果たして参ります。

また、世界的なコロナ禍を経て、「センシング」、「ロボット」、「自動運転」、「オンライン」といった非接触型のデジタル技術が飛躍的に進化し、社会や産業の形態が大きく変わろうとしている中、中小企業にもデジタル時代にふさわしいビジネスや業務の変革が求められておりますが、そのような中小企業の取り組みにも本会が十分にサポート出来るよう、人材の育成に取り組んで参ります。

今年の干支は壬寅ですが、「陽気をはらみ、春の胎動を助く」を意味し、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になると言われています。県内の中小企業にとりましても、コロナ禍を乗り越え、一刻も早く安定した事業環境を取り戻し、新たな飛躍に繋がる年にしたいと願っております。

最後になりますが、皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭所感

秋田県知事

佐竹敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での流行が続く中、国内にも感染拡大の波が押し寄せました。秋以降、日常の生活風景が戻りつつありますが、県内でも多くの業種で影響を受けていることから、県内経済の下支えとともに活性化を図っているところであります。

秋田県中小企業団体中央会におかれましては、新型コロナワクチンの職域接種に特段のご配慮をいただき、地元市町村の負担軽減はもとより接種率の向上、ひいては社会経済活動の回復に大きく寄与されたところであり、深く感謝申し上げます。

さて、近年における県内人口の社会減少数は、2年続けて3千人を割り込むなど、人口減少の抑制に向けた兆しも見え始めているほか、産業・雇用関連では、能代市への大手製材会社、大館市への大手素材メーカーの進出が決定したほか、秋田港及び能代港における洋上風力発電の建設が進み、年内の運転開始が予定されているなど、本県の強みを生かした動きが活発になってきております。

こうした中、コロナ禍における社会経済情勢や価値観の急激な変化に加え、デジタル化の進展や、EV化などの脱炭素社会の実現に向けた取組の加速といった時代の潮流を捉え、本県の優位性を発揮した施策の推進などを基本的な視点に据えながら、果敢にチャレンジしていくという気概を持ち、ふるさと秋田の将来を見据えた取組を進めていくことが肝要であります。

このため、4月からスタートする新秋田元気創造プランにおいては、時代の大変革期を見据えつつ、県政の最重要課題である人口減少問題の克服を目指して、「賃金水準の向上」「カーボンニュートラルへの挑戦」「デジタル化の推進」の三つを、分野を超えた横断的な「選択・集中プロジェクト」として重点化しながら取組を進めるとともに、産業・雇用、農林水産業、観光・交流、未来創造・地域社会、健康・医療・福祉、教育・人づくりに関する六つの戦略や、防災・減災、交通基盤の整備、生活環境の整備等を進めてまいります。

貴中央会におかれましては、県内の中小企業の良きパートナーとして、また、地域経済活性化のけん引役として一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって希望に満ちた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年6月に会長として再任頂き、11月には本会創立65周年記念式典を開催することができました。これもひとえに会員皆様方の日頃のご支援やご協力のお陰であると深く感謝申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の影響を強く受けて実に苦しい1年でした。世界的な半導体不足や原油、金属、食料原材料等の価格高騰、豪雨・台風等の自然災害の発生、深刻化するデジタル人材不足、事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、対面サービス業を中心に深刻な影響を被りました。ワクチン接種の進展等により感染者数は減少したものの、依然予断を許さない状況が続いています。岸田新政権が昨年11月に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実効に期待を寄せているところです。

このような状況の中、中小・小規模事業者にとって喫緊の課題である生産性向上や経営強靱化は急務であり、そのためには、個社ごとの経営努力に加え、中小企業組合をはじめとした共同化、協業化、企業間連携を通じた戦略的な取組みが重要になります。

昨年11月25日に神奈川県のパシフィコ横浜国立大ホールにて開催した第73回中小企業団体全国大会では、萩生田経済産業大臣等多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約1,700名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

大会後の「感謝の夕べ」にご臨席賜りました岸田内閣総理大臣からは、ものづくり補助金の中央会の事務局としての活動と生産性向上の具体的な事例に言及され、謝意を頂き、中小・小規模事業者の発展を支援する中央会への期待が表明されました。この岸田内閣総理大臣の中小・小規模事業者への期待や支援に応えるためにも、組合組織が持っている企業同士の「連携力」を大いに発揮し、中小・小規模事業者が誰一人取り残されることのないよう全力で取り組んで参ります。

とりわけ、ポストコロナを見据えた新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、デジタル化・グリーン化への起動、事業再構築・生産性向上、災害対策、事業承継、事業再生などの最重要課題については、会員の皆様との連携を一層強化し、対応してまいります。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、一刻も早く安心して事業活動を行う環境が整いますとともにコロナ禍から立ち直り、新たな飛躍への足がかりとなる1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦



年頭所感

株式会社商工組合中央金庫

秋田支店長 清水 剛



明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国各地で緊急事態宣言などが断続的に発令される中、飲食や宿泊関連などの対面型サービス業を中心に深刻な影響を受けました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化しています。

このような中、私ども商工中金は、危機対応業務の指定金融機関として、制度を的確に運用しつつ、影響を受けられた中小企業の皆さまの個別の実情に応じた懇切・丁寧な対応を行うとともに、資本性劣後ローンを活用した財務基盤の構築にも取り組んでまいりました。

低炭素経済への移行や社会のデジタル化等の大きな変革も見据えて、引き続き真にお客さま本位かつ長期的な視点で、中小企業及び中小企業組合の企業価値向上に貢献してまいります。

具体的には、産業構造や社会の大きな変革を見据えた事業再構築や新事業への進出、業務のデジタル化、経営改善、事業再生などに取り組む中小企業の皆さまに対する支援を重点的に行ってまいります。日ごろからのリレーションを一層強化し、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業を密に行いながら、お客さまの経営課題に対応してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に発揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

商工中金秋田支店は、本年も中央会の皆さまとの連携・協力関係を一層強化し、当金庫の使命である中小企業と中小企業組合の持続的成長とそれを通じた地域経済の活性化に貢献してまいります。「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、支店職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。